

## A mini-glossary of TUN-HUANG (「敦煌」)

(井上靖 作, JEAN ODA MOY 訳)

2020.6.16

I.Nishida

### 1. 主要登場人物

#### **Chao Hsing-te**: 趙行徳

昼寝で寝過ごしたため官吏登用の試験に落第。その日、市中を彷徨している時、奴隷として売りに出されていた Uighur の女性を助ける。彼女がお礼にくれた一枚の布に書かれていた文字（西夏文字）が読めず、文字文明を持つ西夏に強い関心を持ち辺境の西域に向かう。

辺境の地で、たまたま、西夏軍の中の Chu Wang-li (王朱礼) 率いる漢人外人部隊に入り西域で吐 Turfan (吐蕃) などの諸部族との戦闘にあけくれる。

Kan-chou (甘州) で Uighur(Uyghur)との戦いで城を陥落させたとき望楼に隠れていた、The young girl of Kan-chou (甘州小娘子) を発見し匿う。

#### **Chu Wang-li**: 王朱礼

西夏軍の漢人外人部隊の部隊長。闘将だが無学のため西夏語の命令書が読めない。このため、Chao Hsing-te (趙行徳) に西夏語を学ばせるため西夏の首都 Hsing-ch'ing (興慶) に遊学させる。

Chao Hsing-te (趙行徳) は遊学期間中、Kan-chou (甘州) で庇護していた Uighur の血を引く王女 (The young girl of Kan-chou (甘州小娘子)) の保護を部隊長 Chu Wang-li (王朱礼) に依頼。

Chao Hsing-te が約束の1年の遊学期間を過ぎても戻らないため Chu Wang-li (王朱礼) は彼女を愛することになる。ところが、西夏軍の将軍 Li Yuan-hao (李元昊) が彼女を自分の側女に召し上げてしまう。

Chu Wang-li (王朱礼) は、愛する The young girl of Kan-chou を取られたため、Li Yuan-hao (李元昊) に復讐を決意しの反乱を起こすが、Sha-chou: 沙州 (敦煌) 城外の砂漠での戦いで敗れ死す。

#### **The young girl of Kan-chou**: 甘州小娘子 (甘州の王族の娘)

Uighur の王族の血筋を引く王女。(作品では、作者は彼女に固有名詞の名を与えていない。)

西夏軍の外人部隊としての戦闘で Uyghur の拠点 Kan-chou (甘州) を陥落させた時 Chao Hsing-te (趙行徳) が烽火檣に隠れていた彼女発見し、居所、食料をを与え保護する。二人は愛するようになり、彼女は首飾りの一組を彼に与える。

部隊長 Chu Wang-li (王朱礼) に西夏語の習得を命じられた Chao Hsing-te (趙行徳) は一年後には Kan-chou (甘州) に戻ると約束するが西夏首都 Hsing-ch'ing (興慶) で中国語—西夏語の辞書作成に没頭していたため1年後に戻る約束を果たせなかった。

Chao Hsing-te (趙行徳) の遊学期間中、彼女を保護していた Chu Wang-li (王朱礼) は、Chao Hsing-te (趙行徳) が約束の期間の1年後に戻らなかったため彼女を愛するようになり首飾りの一組をもらう。

そのさなか、西夏軍の Li Yuan-hao (李元昊) に彼女を側女として召し上げてしまう。

Chao Hsing-te (趙行徳) が遊学を終え Kan-chou (甘州) に帰郷後、偶然に街中で Li Yuan-hao (李元昊) と一緒にいた彼女と出会う。貞節を守れなかった彼女は、Chu Wang-li (王朱礼)、Chao Hsing-te (趙行徳) らの漢人部隊が、西夏軍の大將 Li Yuan-hao (李元昊) の閱兵を受けるため甘州城外で整列している時、城壁の上から身投げをする。遠くから身投げをする彼女の姿は芥子粒のようでこれを Chao Hsing-te (趙行徳) は目撃していた。

### **Wei-ch'ih Kuang : 尉遲光 (うっちこう)**

Khotan 于闐 (うてん) の王族の血を引く隊商の頭目。無鉄砲、命知らずの若者。

Chao Hsing-te (趙行徳) が持っていた The young girl of Kan-chou (甘州小娘子) の首飾りの宝石をなんとしても手に入れようとする。

Chao Hsing-te (趙行徳) は彼のこの欲を利用して彼をそそのかし隊商のラクダを使い、Sha-chou 沙州 (敦煌) が Li Yuan-hao (李元昊) 率いる西夏軍に落とされる前に Sha-cho (沙州) の寺院の多くの経典を郊外の Ming-sha mountains (鳴沙山) の千仏洞に埋めさせる。

### **Li Yuan-hao : 李元昊**

西夏王 Li Te-ming(李徳明)の長子で西夏軍全軍の統率者、作品では24歳ないし25歳。

Sha-chou : 沙州 (敦煌) を陥落させた後は宋に対抗する大国となり、1038年国号を「大夏」と改号し、皇帝となる。

中央アジアを征した後の12年後の1048年45歳で没。

### **Ts'ao Yen-hui : 曹延恵**

Kua-chou (瓜州) の太守。敬虔な仏教徒。由緒ある節度使としての曹氏の家系図を Chao

Hsing-te (趙行徳) に託す。

西夏軍の攻撃を受け、Kua-chou (瓜州) から兄の下の Sha-chou : 沙州 (敦煌) に移るが Sha-chou : 沙州 (敦煌) も西夏軍の攻撃を受け陥落する中避難することなく炎の中にとどまる。

Ts'ao Hsien-shu : 曹賢順

Sha-chou : 沙州 (敦煌) の節度使。敬虔な仏教徒 Ts'ao Yen-hui (曹延恵) の兄

(その他の人名 : Chang Ch'ien : 張騫、 Pan Ch'ao : 班超 )

## 2. 国名、地名、種 (部) 族名等 (a,b,c 順)

**Hsi-hsia** : 西夏

(1038 年 - 1227 年) 首都は Hsing-ch'ing (興慶)。作品は 11 世紀が舞台。

首都は Hsing-ch'ing (興慶)。宋と臣従関係を結んだりするが必ずしも従順でなく周辺の部族を征服し宋に対抗する大国となる。

大国としてふさわしく文化、文明を誇示するため 6000 以上の西夏語文字数を起こす。

(1960 年代、京都大学の西田龍夫らが全文字を解読)

Ch'ingt'ang : 青唐

Turfun 吐蕃の首領 Chueh-ssu le 唃廝囉(かくしら)の拠点。

**Hsing-ch'ing** : 興慶 (西夏の首都)

1028 年から Chao Hsing-te (趙行徳) が西夏語の勉強。2 年滞在。

この間、“The Pearl in the Palm His-hsia – Chinese handbook” : 「番漢合掌中珠」 1029 年西夏語—中国語辞書を完成)

**K'ai-feng** : 開封 (宋の首都)

**Khotan** : 于闐(うてん)

漢から宋代にかけての西域の一国。今の中国新疆ウイグル自治区天山南路の和田(和闐)(ホータン)。西域交通路の南道に沿う文化・貿易上の要地。古来、玉の産地として有名。20世紀初めイギリスの探検家スタインにより多くの遺址が発掘された。

**Khitan** : 契丹

4世紀以来、内蒙古潢河(シラムレン)流域にいた、モンゴル系にツングース系の混血した遊牧民族。

**Kan-chou** : 甘州

Uighur 王国の拠点。東西交易の重要地。

西夏が墜とした時、望楼の狼煙台に隠れていた **The young girl of Kan-chou** を Chao Hsing-te (趙行徳) が発見、彼女を匿い庇護する。

**Kua-chou** : 瓜州。

太守は仏教に敬虔な Ts'ao Yen-hui (曹延恵)。西域への門戸の地。

Chao Hsing-te 趙行徳が、太守 Ts'ao Yen-hui の依頼で経典の西夏語翻訳のため西夏首都 Hsing-ch'ing: 興慶から中国人僧侶 6 人を Kua-chou に連れてくる。1033 年—1034 年にかけて仏典の西夏語翻訳に没頭。

Chu Wang-li (王朱礼)、Chao Hsing-te (趙行徳) は城外西夏軍 Li 大将 Yuan-hao (李元昊) に反乱を起こすが Li Yuan-hao の首はとれず、Kua-chou : 瓜州を後にして 100 マイル (300 支里) 西方の Shao-chou に向かう。

**Liang-chou** : 涼州

肥沃な農耕地に恵まれ、また、優れた軍馬の産地。宋、西夏、Uighur にとって戦略上の要地で 3 国間で奪い合う。

Lung trive : 龍族。Sha-chou : 沙州 (敦煌) 南方の山地に住む。(盗賊の連中)

**Ming-sha mountains** : 鳴沙山 (Sha-chou : 沙州の郊外で千仏洞のある山)

**Qoco** : 高昌

漢末から西方に移住した漢族が 5 世紀中葉にトルファン(吐魯番)地方に建てた植民国家。

Shensi Province：陝西省

**Sha-chou**：沙州（敦煌）

古来、西域との交通の要衝。市街の南東（約 14 マイル）に 4~14 世紀の美しい壁画・塑像を持つ世界遺産の千仏洞(莫高窟)があり、20 世紀初め以来その壁の中から貴重な文書・仏典等を発見。

Ts'ao Hsien-shu（曹賢順）が宋の節度使として統治。17 の仏寺あり。1036 年から 1043 年西夏が占拠。

1907 年イギリスの探検家 Sir Aurel Stein が洞窟の一つから経典を発見し 6000 巻を持ち帰る。

1908 年フランス人 Paul Pelliot が 5000 巻の経典をもちかえる。

その後、ロシア、日本の探検家がきて経典をもちかえる。経巻は全部で 4 万余点。

**Su-chou**：肅州（現、酒泉）

Uighur の都邑。

Chao Hsing-te（趙行徳）の西夏軍の外人部隊の先遣隊としてここに 2 年半駐留。ここから宋の飛び地 Kua-chou（瓜州）征服に向かう。

**Sung**：宋

文治主義による官僚政治を樹立したが、外は遼・西夏の侵入に悩まされ、内は財政の窮迫に苦しみ、1127 年金の侵入により 9 代で江南に逃れた。これまでを北宋といい、以後、臨安(杭州)に都して、9 代で元に滅ぼされるまでを南宋という。(960~1276)

**Turfan**：吐蕃

唐代、中国での、チベット王国およびその国人の呼び名。その国は、今のチベット自治区の地。

**Uighur (Uyghur)**: 回鶻（ウイグル）

西域の異民族の名。Uighur の音訳。西域の異民族の名。南北朝から元代にかけて栄えた。廻紇(ウイグル)・畏兀兒(ウイグル)・維吾爾(ウイグル)ともいう。

**Yu-men pass**：玉門関。

(中央アジアの玉を漢土に運ぶ時に通る関の意)中国甘肅省敦煌(とんこう)の西にあった関所。陽関とともに漢代の西関で、シルクロードに沿う東西交通の要地。**Su-chou**：肅州の西方 290 マイル。

**Wei River**：渭河

**Tang River**：党河 (沙州の近辺、漢人の城塞の有ったところ)

**Ch'i-lien mountains**：祁連山。青海省と甘肅省にまたがる山脈。

### 3. 仏教関係(a,b,c 順)

**Agama Sutra**：阿含

**Bodhisattva**：菩薩

**Dalai Lama**：陀羅尼經

**Diamond Sutra**：金剛般若經

**Heart Sutra**：般若心經 (**Wisdom Sutra** とも)

**Lotus Sutra**：法華經

**Manichaeism**：摩尼教

**Nestorianism**：景教

**Nirvana**：涅槃

**Sastra of Great Wisdom**：大智度論 (金剛經の注釈書)

**Sastra**：論部

**The truth of Buddha's teachings** : 妙法

**Vaisravana** : 毘沙門天 (「毘」(Vai)が Wei-ch'ih Kuang 尉遲光の掲げる旗のバナー)

**The Three Realms Temple** : 三界寺 (敦煌千仏洞前の寺)

**Temple of King Asoka**: 阿育王寺

“Chao Hsing-te, second-degree holder from T'an-chou of the great Sung Empire” :  
“大宗国潭州府举人 趙行徳”

